館報　たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館
広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田電(22)5353

望まれる結婚式の利用

料理・民踊・コーラスに人気

新装なった公民館

公民館が改築され、四月十七日建設関係者、地区団体役員など二百余名の出席する中に竣工式を迎えた。

地区民の永年の望みが叶えられた訳である、具体的には昭和四十八年当時新春放談会から運動が始まり、市当局に陳情、その間各方面より支援、協力が寄せられて三年目に立派な社会教育の館としての公民館が完成した。この間には建設用地の問題、建設規模の問題予算問題などけっして問題がなかった訳ではない。

時代の要求から駐車場確保が必要条件となったり、会議はもちろんのこと生活改善の一環を担う会費制結婚式が出来る会場を、又料理講習会の出来る調理室が必要であり、図書館をも併合出来ることが絶対条件でもあった。

建設推進委員会ではそれぞれの問題について努力、駐車場も地元地主の理解により一応のスペースが確保出来た。五十年三月市議会に於いて建設予算が可決され、総工費四千六百五十万円、建設面積七百四十八・四四㎡、鉄骨二階建と決定され、一階に飯田市役所竜丘支所を併設する事から時又に現状改築する事となった。

【一階】竜丘支所（公民館事務室）・料理・図書・児童・宿直室等とトイレ

【二階】大会議室・学習研修室・和室・雑庫とトイレ

それに旧貴賓室と蔵があわさり立派な設備に整った。

飯田市公民館の中でも山本と並んで近代的な施設の一つである。

開館から六ケ月経た現在利用状況は大変良く連日各種会合、料理講習会、民謡、コーラス、図書館開館など大いに賑やかだ。中でも料理講習会は婦人会の活動に新たな息吹を入れ、組織強化と拡大の方向に進みつつあるなど公民館が建設されての成果が顕著なものである料理設備はステンレス製調理、ガス流し台、洗浄槽組みで五器、一回に三十五人余りが講師を囲み和やかに交代で実習している。

大会議室にはピアノも設置された事からコーラスグループも生まれ、毎週多くの出席で練習が行なわれ、民謡踊りの講習会や練習も雨が降ったり寒い日でも気楽に伸び伸び出来る様になった。

図書館も併設され夜間土曜のみの開館から昼間の毎日開館などが行なわれ児童図書が入った事により利用層の巾が広がったりした。

生活改善の一環での結婚披露宴などの利用は皆無。この事は生活改善推進委員会の責任もさることながら設備の面でも問題が無い訳ではない。大会議室約百五十名、和室で約百名の収容人員では中途半端、会費制結婚式ではより多くの人達が皆で祝う為大会議室では手狭、出入口不足などが問題であろう。又、結婚式のあり方など改めて地区民が各団体の中で考え合ってみる必要があり、その為に生活改善推進委員会の方々の役割を認識されん事を望みたいものです

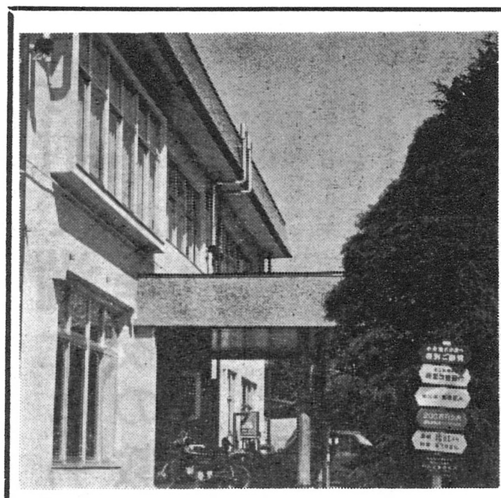
地区関係業者の受入れ態勢は十分ではないが積極的に取り組む姿勢で、話し合いがもたれている。

青年の中には会費制の結婚式を商工会館や文化会館で行っている事でもあり、公民館を利用した結婚式の啓蒙を具体的に位置づける必要がある。

誰もが竜丘方式の結婚式で皆に祝福され、とやかく言われず気軽に又格安に出来れば地区民の為、地元業者の為になり生活改善の一助となり、住み良い生活環境を築き上げることになるのではないだろうか。

施設管理面での光熱費はばく大な額となり問題の一つであり、節電に心掛けなければならない。

又、閉館時間が大きな問題である。夜十時までは会合時間に制約がありすぎて清掃などの時間を考えると不便・不都合ともなる。改築以来大いに利用活用され大変良い事だが、時間制約などの不便さをどのように改革してゆくか地区公民館の課題の一つでもある。



（盛況な料理教室）

養豚組合スタート

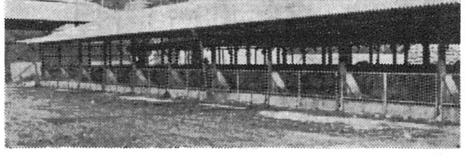
新しい経営（農事組合法人）

第二次農業構造改善事業の一貫として五名参加による養豚団地が桐林お宮から臼井原へ登った駄科長洞地籍に三月完成、現在約一一〇〇頭飼育されている。この計画は、四十七年から進められていたが用地買収で難航し、第二次構最終年度を間近にした昨年より急ピッチで進められて来ただけに関係者の喜びと期待は大きい。

入植した五名は、農事組合法人「竜丘養豚組合」を形成し、組合長桐林蔵雄さん（桐林）を中心に中島良さん（桐林）下平正文さん下平正明さん折金正一さん（駄科）用地施設は組合が管理に当り養豚経営は各人別々である。一人一〇豚房三〇〇豚舎一棟を担当、年間二・五回転七〇〇頭が目標になっている。当団地から年間三五〇〇頭の肉豚が出荷される。将来仔豚は全頭自家生産育成と一貫経営が目標である。五月八日より豚が入りすでに約三〇〇頭出荷された。団地は、借入地を含め総面積約一*ha*、豚舎三〇〇頭入五棟、堆肥舎二棟、オガコ舎・格納庫・管理棟各一棟、二トンダンプ・ショベル・ローダー・攪拌機各一台。総工費約一億円（用地その他含）を投じ建物施設費七、八四〇円の五割は助成される。水は桐林お宮横をボーリング、ポンプアップされている。豚舎は、五〇*kg*以上の豚はタンクから自動的にエサが給与され糞尿はオガコを利用しビタコーゲンを豚に給与、出荷後堆肥舎に積まれ醗酵させて完熟堆肥にする仕組になっている。出来上った堆肥は農地還元又は、KKサンコーを通じ販売される。軽く扱い易く完熟していて作物に害がなくゴルフ場家庭菜園に好評という。地区内の希望者には直販するとのこと。

管理作業は一日二時間位かかり午前十一時には管理棟に全員集合夜は事故防止の為交代制で宿直に当っている。飼育する中に問題も生じた。地形が洞になっていて通風が悪く換気装置を取付けた。醗酵堆肥を作る為六〇日位積んでおくので堆肥舎がもう一つ必要である。また飼料・オガコ運搬による大型車乗入は道路が悪く伊賀良方面から時間規制で入れるだけ、桐林方面からは運搬不能である。

当団地完成により、隣合わせた山丘農場（二*ha*梨園）と共に農業先進地となった。桐生組合長は「一団地が完成したのは関係者、地区全体の御理解御協力が有ったからこそと深く感謝しております。これに報いる為五名一丸となり努力する覚悟です。今後の運営につき御支援御協力をお願いします。」と語られた。今後の発展と活躍を願いたいものです。



〔歳入〕　公民館建設特別会計報告　〔歳出〕

項目	金額	項目	金額
自治会（経常費）	250,000	市へ寄附	10,000,000
〃（基金積立）	2,000,000	備品費	2,130,400
〃（定期預金解約）	5,061,380	祝賀会費	353,480
寄附金	4,130,000	写真で見る竜丘	1,000,000
財産区交付金	1,500,000	その他委員会費	121,135
地区協力費	1,998,000	小計	13,605,015
御祝儀	51,000	（残金）	1,461,205
利息	75,840		
計	15,066,220	計	15,066,220

上記の通り会計報告致します。備品は市で購入されながったもののみです。料理教室什器、テレビ、駐車場フェンス・ステージ幕、その他です。尚、残金一四六万円余は、暖房設備、簡易雑庫、不足備品など現在発注されているいろ物に使われる。詳細は事務局にあります

◇ ◇ ◇

随想リレー【101回】

竜丘学校 校舎 彼是

桐林　前島悟月

お係りの力がお尋ねになって先頃取り壊しになった小学校舎に就いて書けとのお話しだが別に記録に拠るのでなく全くの気憶を辿るのだから昔話になります。故に前以って読者の方々にお許し願っておきます。

小学校教育

義務制四ケ年が明治四十年四月一日より義務制六ケ年教育実施となって学級数も増加し一方入学児童数も年一年と多くなる故、随て教室も狭小となるので校舎の増築のはこびとなった。そこで当時の体操場は去る明治三十六年に全焼の校舎の焼け残りで老朽も甚しい故体操場の改築となり新築された体操場の位置は現在の中央校舎の西側にある現在使用中のもの旧体操場である竣工明治四十二年八月、続いて北校舎の新築起工明治四十三年二月此の北校舎の位置は現在の中校舎の裏、現公使室宿直室のある処で大凡東西に長く五間に二十間二階建と気憶している竣工受渡し直前火災発生全焼したのである、時明治四十四年四月三十日午前八時引続き再建となり竣工明治四十五年十一月（大正元年十一月）

追而此の北館を移転及び増築することになり当時の位置より少し高い敷地で凡十二間北裏へ移転して此の旧い校舎を中央に東と西合せて二十五間五分の増築起工、大正十年八月竣工は大正十一年十一月等々記録による。此の校舎も老朽し風雨のため腐蝕の個所が非常に多くできたので今回市議会に於て改築と決定したので九月始め校舎の取り壊しをした近い間に施工になるだろうと思っている。改築になる校舎は鉄筋コンクリート三階建極めて斬新的なモダン校舎でしょう。猶先の北校舎移転後の空地には公使室宿直室が建てられ現在に至る。

旧体操場及び移転以前の北館の敷地について少々書くことにする。

この敷地の整地に掘り取った土は今の民俗資料館の敷地造りに使ったのである。この処は大石垣の下の細い道と同じ低さで当時は草茲々の荒廃地でそれを現状の様に埋立して大正御大典記念館として建設した裁縫室講堂に使用したのである。当時郡下に稀な立派な建物と云われた。あの石垣は前後三回も崩れ落ちて築き直し築き直して三回目には内側に粗末な石垣を一重造り、外側に念入りに築いたので崩れることもなく今日に至ったのである

歌碑完成

静寂な開善寺の庭に

去る十月九日、開善寺境内において、木下右治先生の歌碑の除幕式が、あいにくの雨にもかかわらず多数の方の列席を得て盛大に行なわれました。

木下右治先生は、当年七十八才になられ近来病床につかれておられ、この際に歌碑建設をと言う声が誰言うともなく出て、有志が集まり歌碑建設が計画されました。

木下右治先生

具体的には、竜丘公民館内に事務局を置き、発起人会（八十一名代表・木下一氏）の中に小委員会を設けてこれに当ってきました。計画の実施に当っては、広く一般の皆さんの賛同と協力を得てここに実現されたものです。

皆様御存知の通り、木下右治先生はその生涯を「学校教育」と「社会教育」につくされた方であります。又、先生は短歌を趣味として熱情を傾けてこられました。

若くして島木赤彦に師事し、その殁後土屋文明について写生の道一筋に貫ぬかれ、この間、森山河川、丸山東一、五味保義等と交流して作歌に精進されてこられました。大正十年アララギ入会以来歌歴五十余年、飯田下伊那アララギヒムロ会はもとより、各地に藪蘭東和、風越、鼎、竜江等の短歌グループのリーダーとして後進の指導に当られてこられました。

近来、歌境は親切、重厚に、格調は高遠暢達に向い、自然同化の趣を呈するようになられました。

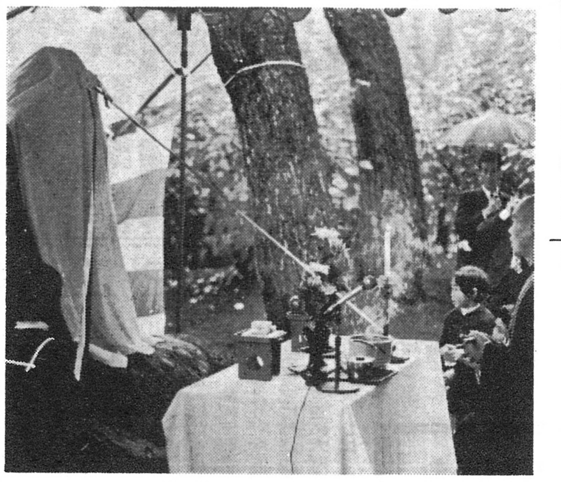
（碑裏面撰文より）

この、度歌碑に選ばれた歌は、先生の作られた多くの歌の中で開善寺の庭に最もふさわしいものです

方丈の庭に黄ばめる苔の上に
霰にわかに音なく降りぬ

この歌にふさわしい開善寺の山門の西側の一段小高い所に歌碑は建てられています。

当日先生は、除幕式には出席されませんでしたが、病床の中で大変喜ばれておられました。しかし先生はその日の夜、七十八才の生涯をおえられました。ここに謹んで先生の御冥福をお祈り申し上げます。



ヤブ蚊

▼館報が休刊?…している間に、竜丘も随分変った。公民館も小学校も立派に完成、竜丘史に残る意義（異議）深い年となった。▼休刊中に各所・各人から御意見・御叱りをいただき『まだ脈はある』と喜んだり、ヤブ蚊も健在うんと働くつもり〃乞御期待〃▼委員の能力と姿勢も然りながら、忙しさに押流されそれを止める策もなしせめて新館で心を合わせて踏んばりたい。▼宿直室がありながら、夜の十時で閉めるとは、館報作りはどこでやれは良いのだろう?。▼編集に校正にと時間延長を望みたいが、一室だけでも夜中まで使用出来ないものだろうか。▼委員が宿直をしたらどうだろう、公民館の管理体制の再考を望みたい。▼旧図書館は荒れ放題、青年会が存置運動を行って、一時は気運も盛り上り、青年会館に移行かと望みは宙に浮いたまま。▼仕事を休んで瓦を運んだ青年達が可哀想…▼図書館移動で空いた部屋、館報作りに借りれたら、時間の苦労も無くなるし、だれかが修繕してくれるだろう。▼小学校の寄附が徹底し、他地区に嫁いだ者にまで、そのしわ寄せは実家が被る。▼義務教育まで〃義理と人情〃の板ばさみ、祝賀会はほどほどに……▼公民館だ学校と大事業が行なわれても、自治会の動きが解らない各区の動きと自治会の報告でもなければ判らない。▼身近かな事も解からずに、国の政治もわからない。地元とかで誤魔化され、損をするのは……（総選挙あり）。▼竜丘公民館育ての親。師である木下右治氏が逝かれた。歌碑除幕の朗報を受けてその夜に。▼短歌を愛され指導し、母親文庫運動を飯田・下伊那中に起し、婦人・青年運動を社会教育の分野から励ましつづけられた。▼憲法学習会を自分で作られたテキストで行い、暮しの中に憲法を生かすことを説くなど、今日の民主市政の礎を築かれた。▼金力・権力・暴力を嫌われ、物事に対し勇気を持って、是是非非を説かれたりした先生の安らかな御冥福をお祈りします。▼先生の教えを忘れず、館報いや公民館活動に励む覚悟です。▼久しぶりのヤブ蚊、編集者が偏執していないつもりですが、いかが！

寄附で満たされるか！

小学校の教育設備

◈……「歴史」今回の一連の小学校の改築工事の過程を見乍らふとこの言葉が浮びました。文化、教育を広め開き、教育村の名を高めた校舎も五十余年の風雪には耐え難く、ついに改築を余儀なくされ、鉄筋三階建のモダンな校舎として生れ替わり新しい歴史を刻み始めました。……◈

小学校は昨年十一月着工以来、八ケ月にわたって工事がすすめられていたが、本年七月末に完成し鉄筋コンクリート三階建、延面積二、三二一平方米、総工費一億九千八百余万円という立派なもので児童は夏休み前に新校舎に移り就学している。又雨もり等で老朽化していた南校舎は、新校舎と共に改修が行なわれ現在では特別教室として使用されている。

新校舎は普通教室にして二十一教室分（別図見取図参照）で昨春完成した丸山小学校とほぼ同程度の施設と言われる……が、設備（備品）面での予算がごく少額であり改築を機会によりよい設備をと考える学校やPTAの要望に応え得る状態ではない処から、当地区として児童の就学上不都合の無い教育環境を確保するための協力機関として「自治協議会、PTA、財産区、公民館」等各種団体を網羅した「竜丘小学校改築協力会」を発足させ、市への働きかけと共に地区として行政上の欠落をどの程度補い得るかを協議しその試案を作成し作業に入った。

まず当面必要とされる教育の施設備品や学校をとりまく環境整備費がとり上げられ、大きな物としてテレビを中心とした放送施設、親子時計、カメラ、電子リコピー印刷機、ピアノ（その後駄科出身東京在住の木下長志氏の寄贈による）等環境整備費では、新校舎まわり庭国旗掲揚塔、校門（市から二〇万円補助）、自転車置場、スケート場、温室等が計上され、品目で三〇点、総額一、二〇〇万余と言う高額なものである。

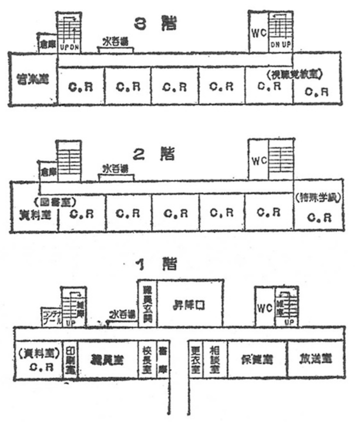
財源としては、財産区交付金二〇〇万円、地区協力員（一、二〇〇戸×三、〇〇〇円）で三六〇万円、PTA協力費三〇万円、竜丘小学校百年祭預金四〇万円、特殊大口、同窓生、企業の寄付金が四〇〇万円、自治会借入金三〇〇万円、合計で一、二七〇万円の予算でもってこれに当る計画で進められている。

現況では当初の目標以上に事が運ばれているとの声も聞かれるが同窓生の寄付については、三〇才以上七〇才までとし、竜丘居住以外の方、約二、二〇〇余名に協力をおねがいした処、金額にして三〇〇万余円の寄付が現在までに寄せられている。

竜丘小学校改築協力会では、環境整備、祝賀会、備品購入、総務の各小委員会を設けて事業の遂行に当たっている。

立派になった小学校

竜丘小学校新校舎図



若い者には負けられぬ！

版画に挑む

桐林老人クラブ

竜丘老人学園（中田剛学園長）の活動が活発に行なわれ、最近は高令者学級、講演会を開催したり各単位クラブでは、それぞれ学習会など積極的に活動が行なわれている。

特に桐林の版画学習会と薬草栽培、上川路のお茶作りの活動は、市の老人社会活動促進事業として補助金が出ることとなっている。竜丘地区には、六老人クラブが組織されているが、今回は桐林老人クラブの活動を紹介します。

桐林老人クラブ（中島忠雄会長）は六十才以上の人達で組織、現在八十余名で運営されている。今年の活動の特色は版画学習会と薬草栽培に取り組み、昨年米の臼井秘境の活動とあわせて積極的な取り組みが行なわれている。

版画学習会は市の補助金十万円を受け、講師には北原欽治先生（貧瀬）を依頼し、八月の末に二日間を使い桐林公民館で版画に取り組んだ。この取り組みは毎年の年賀状の中に版画で印刷されたものに感銘され、自分の彫った版画を印刷して子供や孫や友人に年賀状が出せたらどんなに素晴らしいことだろうと話し合われ取り組まれた「初めて彫刻刀を使いましたんな、ずいぶん力がいりますに」「目が弱くなっちゃって、こまかい処は無理な」「なにしろ肩がこって」「熱中するもんで時間を忘れる」など様々な感想が出ているがこの版画学習会には二十六名が熱心に受講し二日間でそれぞれが作品を彫り上げ印刷した。どの作品も立派な出来栄え、市の老人文化祭に出展、十一月には第二回目の学習会を行い、各自のアイディアを生かした年賀状版画作りが計画されています。

薬草栽培は補助金五万円がつき中田会長の畑を借用し、唐辛子の栽培を行った。苗を五百本植えてこの秋収穫を終えた。

計画と取り組みが遅れたため、苗を一般購入したが植え付けの時に日除けの草をかぶせたのが災して百本程が虫の害で枯れてしまったが農協の指導を受けたり、会員が六回も草かきの手入れをしたりして成長させた。

趣味と実益を兼ねたこの活動、実益は人と人との心のふれ合いの中にあったようで、先日の収穫販売でも三本を一束で百円と苗代を無視した価格で販売をした。

有線放送で販売を聞き当日かけつけた人々にもお茶のサービスをしたり栽培の苦労話しをしたり、世の中の話しに花を咲かせたり、老人クラブの方々が一番大切にしている〃心と心のふれ合い〃がこの活動の中で若い人達と話し合いが出来、話し合う喜びを再発見されたようです。

来年度はニラとニンニク栽培に取り組む計画のようです。

五十年度公民館

地区費会計報告

五十年度公民館会計報告を致します。尚これは、公民館監査が済んでいます事も申しそえます。館報の遅れた事により、地区の皆様へのご報告が、大変遅く成りました。詳しくは公民館、事務局にございます。

昭和五十年度収入の部	
繰越金	四三、七九六円
地区費	六七五、九〇〇円
自治費	一二〇、〇〇〇円
社協	四九、四三〇円
雑収入	一一、六九六円
計	九〇〇、八二二円
同支出の部	
成人式	二六、三三〇円
敬老会	二一四、八六〇円
市民運動会	二四七、一二四円
民俗資料委	七七、四六〇円
石造文化財	三三、二一〇円
各種大会	四二、〇九五円
ユニホーム	三〇、〇〇〇円
グループ育成	五五、〇〇〇円
謝金	八、〇〇〇円
計	七三三、〇六九円
繰越	一六七、七五三円

（フィルム復製代一〇〇、〇〇〇円の仕事が未了のため残が多い）

文化祭

田楽座に取り組む青年会

11/21～23

今月も文化祭が計画されている十一月二十一日午後より二十三日までの三日間、地域のサークル発表会、各種の展示、バザー、資料館の公開、体育レク（OB野球）等が館活動を網羅した内容が予定されている。昨年は、小学校改築工事のために、出来なかった文化祭が、本年は改築された北館を全面開放して、地区の多くの方々に見てもらう事も重点の一つとし、公民館サークル活動の発表の場として、盛り上げたいと地区民に参加を呼びかけている。

小学校改築、竣工式が二十一日の午前中に開催され、関係者、四〇〇名の出席が見込まれている。今回の文化祭は、初日からにぎわいが予想される。又、青年会員が総力を上げて、田楽座公演に取り組み、最終日、二十三日午後公演される事となっている。竜丘では過去二回行われ、第一回は四十年二回目は四十八年であった。その取り組みに失敗した例もあり、慎重を期して、再び田楽座公演の良さを再確認し取り組んでいる。

青年の力強い意気を強く感じる多くの皆さんの協力と入場が望まれる。

【芸能発表会】にはサークルの発表、詩吟・民踊・コーラスに合わせ、小学生児童の合唱、地域からの寄付の一部より購入された、鼓笛隊の演奏披露も予定されている

【展示の部門】では一昨年に並って、新館、南校舎を利用しての、各種団体、交通安全協会、商工会竜丘郵便局、農協、長野原生活学級、PTA、小学生の作品等が、展示される事となっている。

婦人会による、お茶・オデン・おしるこの喫茶も行われ、気温も低く成る十一月下旬ではあるが、一人でも多くの方々の参加をと、公民館関係者揃って呼びかけている。小学校の新館の内部の見学と合わせて、公民館活動に参加する意味で出掛けたい。

本年は特に公民館の改築に合わせて、公民館活動も盛り上っており、その成果が期待される。

活発なグループ活動

仲間にならない！

竜丘地区には、趣味を同じくする仲間で作ったグループが活動しています。ゆとりのある生活をするためにも趣味をもつことは大変良いことです。趣味にもいろいろありますが、皆共通の目的でむすばれた仲間がいっしょになって活動することにグループ活動のよさがあり、いろいろな面で得るものがあるのではないでしょうか。竜丘公民館も新築になって、グループ活動に大いに利用されており、時間のたつのも忘れて熱心に活動されている姿を見ると頭がさがります。

公民館では、社会教育活動の一環として、地区の有志の皆さんが作り活動されている各種グループを育成する為のお手伝いをさせてもらっています。以下その名称と代表者のお名前です。（敬称略）

◉民踊　駄科…沢柳英子
　長野原…小林易子
　時又…代田富二
　桐林…原しなえ
　上川路…笹岡唯一

◉詩吟　竜丘…今村ふき　岳心流
　桐林…塩沢甲夫　岳風流
　時又…久保田重治　〃
　駄科…沢柳英子　岳心流

◉コーラス　…下平八千子

◉バレー　…下平千里

◉野球（オール竜丘）…大蔵敏夫

◉ペン習字…笹岡秀郎

◉走ろう会…今村　清

公民館では、多くの方々の御参加と新しいグループの誕生を期待しております。

優勝「城陸」チーム

O・B野球準優勝

飯田市O・B野球大会は、十月二十四日、今宮球場と県民運動広場の二ケ所で十四チームが参加し開催され、竜丘チームは、丸山、山本、下久堅を連破し、三十一日に竜江と対戦し四対三で惜敗した。

野球熱高まる

昨年に続き早起き野球が行われ早朝のグランドに本年は十三チームの熱戦が行われた。(下記星取表) 又、これに引き続き、十月今宮球場を使用してのトーナメント戦も行われ小学校グランドと異り広々した球場に各チーム思い切ったプレーを展開した。優勝…長野原、準優勝…リバーズと好成績を残した。

早起き野球リーグ戦最終結果

2位　長野原

3位　ギューチュー

○ 勝　□ 不勝

× 敗　■ 不敗

△ 引分

（審判欠席　1名に一0.5ペナルティ）

	城陸	長野原	ギューチュ	ナインズ	愛球会	リバーズ	時又港	久保尻	ビーナス	安城	時又消防	寺下	建設会
城陸		○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	□	○
長野原	×		△	○	○	○	○	×	○	○	□	□	○
ギューチュー	△	△		○	○	×	△	○	○	○	○	○	○
ナインズ	×	×	×		○	○	○	○	○	△	×	□	○
愛球会	×	×	×	×		○	×	○	○	○	○	□	○
リバーズ	×	×	○	×	×		△	○	○	○	○	×	○
時又港	×	×	△	×	○	△		□	○	△	△	×	○
久保尻	×	○	×	×	×	×	■		■	○	×	□	○
ビーナス	×	×	×	×	×	×	×	□		○	○	○	×
安城	△	×	×	△	×	×	△	×	×		□	○	○
時又消防	×	■	×	○	×	×	△	○	×	■		○	○
寺下	■	■	×	■	■	○	○	■	×	×	×		□
建設会	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	■	

鉛筆かついで

アイよりコイばかり

時又　林代五郎さん

世の中に、釣りを趣味とする人はたくさん居ます。林代五郎さんもそのひとり。今回は時又の自宅に林さんをお訪ねして主に大好きな釣りのお話しをお伺いしました

鯉釣りの魅力にとりつかれて四十年。この間釣った魚は鯉ばかり鯉しか狙わないと云います。そして今もなお、川へ出掛ける事があるそうです。しかしその回数は、若い頃に比べれば比較にならないとか……。

その頃の林さんの釣り場は、決まって平岡、為栗の天竜川。朝は上りの一番列車で目的地へ、そして、たぶん転がっている小石の位置までも覚えてしまったと思われる好みの場所に腰をおろし、糸を垂れます。こうして昼近くまで鯉釣りを楽しみ、持参したお弁当を食べて、平岡駅十三時十六分発の下り列車で帰るという日課。たとえその日に一匹も釣れなくても、逆にたくさん釣れても、この決めた時間が来るまでは、のんびりと釣りに没頭します。その頃はほとんど毎日出掛けたそうで、定期券を買って通ったと云います。林さんの漁期は五月頃から十一月頃まで。釣り道具は近くの親戚へ置かしてもらいます。釣った鯉はどうしたのかというと、大物は親戚へやったり、又小さいものは、自宅の池に放っておいたんだそうです

歳と共に川へ出掛ける回数も減って、数年前までは週二回ぐらい今ではたまに近くの天竜川へ釣りに行きます。「釣れますか？」と尋ねると「釣れんなァー」と云う返事。それでも、竿を持って川へ行く事が、いい運動になり、丈夫でいられるんだと云う事です。とても七十九才とは思えないしっかりした口調と、赤銅色の肌、健康の秘訣はそのへんにあるのでしょうか。

話しが進むにつれて昔の様々な想い出が甦ってきます。十年くらい前に川がえらく荒れて、その日から暫くの間は鯉がたくさん釣れた。川だけじゃなく、昔は鉄砲をかついで遠山あたりの山へキジを射ちに行った。その時、キツネに出合ったり、雨降りに崖っぷちで足を滑らし、小さな岩につかまって命拾いをした事もあったとか。

次々に浮かんで来る興味深いお話しをお聞きし、いつまでもお元気でと惜しみながら失礼しました。

あの人この人

（八月より十月二十日迄）

◎永遠に幸あれ

（小石　公也　東京へ
北原　和子　時又）

（所沢甲子男　駄科
佐々木千文　泰阜村より）

◉伸びよ健やかに

（氏名）	（部落）	（父名）
木下葉津紀	上川路	雅義
中田　香織	桐林	照夫
宮下　博	時又	芳雄
伊藤　宏	長野原	勉
加藤　裕子	駄科	優
関谷　ゆり	時又	信隆
原田　智宏	駄科	和夫
林　美佐子	時又	南
林　恵美	時又	栄作
下平　知里	駄科	俊行
岡島　聡	桐林	勝
中島　忠士	駄科	正則
今村　允幸	時又	茲康
下平　希実	駄科	裕治
下平　健	駄科	幸三
浜島亜沙美	時又	美博
佐藤　傑	長野原	正信

●御冥福を祈る

（氏名）	（部落）	（性）	（年令）
伊藤　利雄	時又	男	七七
岡島　フミ	時又	女	七〇
下平恵美子	駄科	女	七二
下平　みな	駄科	女	六四
久保田豊実	駄科	男	三三
木下　右治	時又	男	七八
中島　一ゑ	桐林	女	七四

編集後記

氷の張る季節となり、遅れていた館報をやっとの思いで発行することが出来ました。

地区の多くの方から、ご叱声やらご意見を頂戴し乍ら今日に至りました。伝統ある館報が再び定期的に発行出来るよう努力します。